

クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2022年10月27日

ペルー小口債務者支援プロジェクト 36号契約期間延長（4回目）のお知らせ

投資家のみなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本ファンドは本件匿名組合契約書第4.1条第2項にて、本件匿名組合契約の有効期間を2020年4月末日までとしておりましたが、2020年4月に6カ月の、2020年10月および2021年10月にそれぞれ1年間の有効期間延長を行いました。このたびクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」といいます。）は以下に述べる事由により同項にあります有効期間延長（4回目）を行い、かかる延長後の匿名組合契約有効期間を2023年10月末日までといたします。

匿名組合契約有効期間延長の理由

本ファンドは、本営業者が Crowdfund Peru S.A.C.（以下、「ペルーグループ会社」といいます。）に貸し付けた資金で、ペルーグループ会社が現地で債権回収業を営む Kobranzas S.A.C.グループ（以下、「Kobza グループ」といいます。）とのジョイントベンチャー（以下、「ジョイントベンチャー」といいます。）を通して、現地金融機関から延滞している零細企業向けローンや消費者向けローンを額面より安く購入し、債権回収を行うことで収益を得ることを目指すファンドです。

本ファンドシリーズは2014年8月より運用を開始し、2015年2月期から投資家の皆様へ分配を開始しました。その後、約4年にわたって予定通りの分配を行っていましたが、別途ご報告¹のとおり、ジョイントベンチャーで購入した債権からの回収スピードが当初想定を下回る状況になっていることを主因として、2019年5月期におきまして分配の原資となるペルーグループ会社からのローンの返済に遅延が発生しました。さらに、2020年4月期よりコロナウイルス感染症拡大を背景に購入債権からの回収率に落ち込みが見られましたが、2020年後半にかけて徐々に回復の基調を見せ、それに伴いペルーグループ会社からのローンの返済も着実に進んでいました。

その後、本営業者は、Kobza グループがジョイントベンチャー契約における義務を十分に履行していない可能性があること等を理由として2021年11月期以降の分配を停止しました。かかる分配停止期間において、ペルーグループ会社はKobza グループとともに事実の確認に努め、また、Kobza グループが義務の十分な履行を再開するよう協議を行っています。

¹ 2019年6月14日付ご報告 https://crowdfund.jp/img/blog/upload/upload_1560489131.pdf

ペルーグループ会社は、今後も延滞債権からの回収期間を延長し、遅延した期間分の利息（ファンドの利益）も含め満額の返済を目指しております。本営業者はこうした状況に鑑み、本件匿名組合契約の有効期間を1年延長し、2023年10月末日までを延長後の有効期間といたします。

【その他特記事項】

本ファンドに関するローンの当初貸付額ならびに2021年10月期までにペルーグループ会社が返済した元利金およびそのうち元本の金額につきましては、下表をご覧ください。

単位：円

	当初貸付額	返済元利金	返済元利金のうち元本
36号	24,240,000	28,261,451	22,627,322

本営業者はペルーグループ会社とともに残余財産の回収再開に向けた取組みを漸次進めてまいります。

今後とも本営業者業務に対するご理解およびご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号